

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

- ②ダイナミックな多角的、立体的構造：背後に神意 [偶然はない]
全聖書の構成の焦点は、人類の救い主イエス・キリスト
- ④聖書自体が成就を証しする真の神の預言：聖書が聖書を解釈
神の約束の確かさ、成就の確かさ（ご自身の言葉に真実な神）
- ⑥究極的に立証される神のすべての言葉
キリストご自身が神のご計画の「しかり」、アーメン

使徒パウロの宣教

その26

『コリント人への手紙第二』11-13章

11章

☆あなたが牧者なら、教会の会衆への愛と真実をどのように伝えようとするでしょうか

☆パウロ、この問題に、家族を養う「霊の父」のイメージを用いて直面

★父親は子の最善を願うがゆえに、必要に応じて子を厳しく訓練する

★子に対するように信徒を訓練するのがパウロの道理

☆パウロ、三つのことを指摘

1. 嫉妬
2. 寛容
3. 不安

：2「…私は神の熱心をもって、熱心にあなたがたを、清純な処女として…」：

★真の愛は、愛する者の最善を求める

★パウロが示したモデルは、婚約をした娘を愛する父親

†父親としての願望は、娘を聖く保つこと

★パウロ、教会をキリストの花嫁とみなした

：3「…キリストに対する真実と貞潔を失うことがあってはと、私は心配…」（下線付加）：

★花嫁は純真、誠実、献身に専心

★二心は、汚れた人生、壊れた関係へと導く

サタン

☆罪を犯した信徒の良心を悩ます

☆未信者の心を盲目にする

☆信徒の心をだます

☆「偽りの達人」サタン

1. 神の言葉に疑問をさしはさむ
2. 神の言葉を否定する
3. 神の言葉を偽りで置き換える

☆パウロ、サタンの働きに言及して三回、用語「変装」を使用

→11：13, :14, :15

：8「私は他の諸教会から奪い取って、あなたがたに仕えるための給料を得た」：

★皮肉：パウロ、他の教会から献金を「奪い取った」

聖書

- : 9 「…困窮していたときも、私はだれにも負担をかけませんでした…」 (下線付加) :
 * 不活発、無活動のもとになること
 † 身体の麻痺した部分は、からだ全体の重荷になる
- : 13 「こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き人であって…変装している…」 :
 * 背後にサタンの力
- : 18 「多くの人が肉によって誇っているので、私も誇ることにします」 :
 * パウロ、肉を誇る人たちに調子を合わせることにする
- : 20 「…奴隷にされ…食い尽くされ…だまされ…いばられ…たたかれても」 (下線付加) :
 * これらの表現は順番に
 1. 律法主義
 2. 搾取
 3. 餌でおびき寄せられ、^{とら}囚われた状態
 4. 自分自身を高める
 5. 公での屈辱
- : 23 「…私は狂気したように言いますが、私は彼ら以上にそうなのです…」 :
 * パウロ、風刺的に自らを誇る
- : 25 「むちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度あり…」 :
 * 難船のうち一回の出来事だけ、使徒の働き27章に記録
 * これらの苦難はすべて、パウロの主にある働きのゆえ
- : 26 「幾度も旅をし、川の難、盗賊の難、同国民から受ける難、異邦人から受ける難…」 :
 * これらはみな、「自然の」困難、
 しかしおそらく、主の御働きを妨害する敵の罠、陰謀があった
- : 28 「…ほかに、日々私に押しかかるすべての教会への心づかいがあります」 (下線付加) :
 * ギリシャ語では、ストレス、不安の意
 * パウロにとってほかの経験は外的、時折のこと
 * パウロの諸教会に対する重荷は内なるもので、絶えることがなかった

12章

- : 1 「…誇るのもやむをえないことです。私は主の幻と啓示のことを話しましょう」 :
 * あのユダヤ人たち、名誉と「推薦状」を誇った
 * パウロ、神に自分をほめさせた
 * 神はビジョンと啓示で、パウロを立証された
- : 2 「私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に…」 (下線付加) :
 * 自分について第三人称で語ることはユダヤ人のラビたちの習慣
 「第三の天」 :
 * 神が栄光のうちに住んでおられるところ、そこにパラダイスがある

天

☆創世記1:1で「地」は単数形、「天」は複数形

- ③ 「第三の天」は人の目からは見えない
 ① 「第一の天」は人が見ることのできるいわゆる天
 ② 「第二の天」におそらく、サタンの国がある

☆サタンの策略に立ち向かう武具のリストの七番目の「御霊による祈り」
 はサタンの領域を突き破るために欠かせない武具

→エペソ人6:11-18

☆この世で、キリスト者だけが、キリストの名によってサタンに対抗することができる

聖書

: 4 「…人間には語ることを許されていない、口に出すことのできないことばを聞いた…」 :

* 人知を超えた、言葉を介さない思いが伝送された

: 5 「このような人について私は誇るのです。しかし、私自身については…誇りません」 :

* パウロ、超自然的な経験下に置かれた「このような人」と、本来の弱い「肉の自分」とを
区別

† 前者は誇ることのできる人、肉の自分は誇ることのできない者

肉に打たれるくい

☆人の苦しみのなぞ、『ヨブ記』の話題

☆人は、自分の愚かさのゆえ、また、不従順なゆえに苦しむ

☆人は、自らの性質を建て上げるために、苦しみを通される

: 7 「…肉体に一つのとげを与えられました。それは…サタンの使いです」 (下線付加) :

* ギリシャ語では、とがったくい、人を突き刺すために用いられる

* 何か、苦悶を与えるもの

謎めいた「サタンの使い」

☆パウロ、「肉体に一つのとげ」の明確な特徴を意識的にあいまいにした

☆このあいまいさ、個々の信徒自身の「とげ」への適用を可能に

1. 霊的な性質?
2. 身体の性質、誘惑?
3. 身体の病気?
4. 精神的、霊的障害?
5. 急性眼炎

: 9 「…主は、『わたしの恵みは、あなたに十分である…』と言われた…」 (下線付加) :

* キリストの犠牲によってもたらされた神の富

* 神は苦悩を取り除かれませんが、
苦悩が私たちに反してではなく私たちのために働くように、
私たちに恵みを与えてくださる

* パウロにとって、
苦しみは自分を支配する「暴君」ではなく、自分のために働く「しもべ」

苦しみ

☆「肉体のとげ」が神によって許されている三つの理由

1. 7節 私たちを謙遜にするため
2. 8節 願望を満たす祈りをしがちな私たちへの警告
3. 9節 神の恵みが十分であることを示すため

: 10 「…なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです」 :

* 信徒にとって、最大の敵は自らの誇り

* 失敗は往々にして、私たちの一番弱いところではなく一番強いところで起こる

実践的教訓

1. 永久の価値は身体ではなく霊にある
2. 重荷と祝福、苦しみと栄光のバランスはすべて、神の御手に
3. すべての病が罪によって起こされるわけではない
→ 背後に神の計り知れない愛の配慮
4. 苦悩は、信徒を謙遜に保つ
5. 身体、心の苦悩は、必ずしも信徒の奉仕を妨げない
6. 信徒はいつも、どのような状況下にあっても神の言葉に安らぐことができる

聖書

- : 13 「あなたがたが他の諸教会より劣っている点は何でしょうか…」 :
- *パウロ、「負担をかけなかったことで、私を赦してください」と謝罪した
 - *キリスト者の人生の危険の一つは、祝福に慣れ、神への畏敬の念を失うこと
- : 20-21 「私の恐れていることがあります…嘆くようなことにはならないでしょうか」 :
- *パウロ、自らの弱みを隠すことなくさらけ出し、赤裸々に不安を訴え
 - *キリストに完全に安全保障を置くパウロに自己防衛はない

13章

- : 5 「あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい…」 :
- *自己欺瞞の警告に耳を傾けなさい
 - エレミヤ書17:9

自分を吟味

1. 心に聖霊の証し

→ローマ人8:9

2. 主にある兄弟姉妹への愛

→ヨハネ第一3:14

3. 義の実践

→ヨハネ第一2:29

4. この世を克服

→ヨハネ第一5:4

- : 4 「確かに、キリストは弱さのゆえに…私たちもキリストにあって弱い者ですが、神の力によってキリストとともに生き、あなたがたに仕えることができます」 (NIV) :
- : 6 「しかし、私たちは不適合でないことを、あなたがたが悟るように…」 (下線付加) :
- *ギリシャ語は、「墮落した」、「偽造の」の意
 - 1. テストに耐えない意で、おそらく金属や硬貨に使用されたテスト
 - 2. それ自体本来あるべきことを実証していない状態
 - *信徒は信仰に立っていることを自ら確信する必要がある
- : 9 「…私たちはあなたがたが完全な者になることを祈っています」 (下線付加) :
- *主ご自身、ご自分の民を完全にしてお働きに携わっておられるので、信徒も祈り求める必要
 - ヘブル人13:20-21

「完全」:

- *ギリシャ語は、霊的な成熟の意
 - *装備される必要
 - *キリスト者の成長には、羊が群れで生きるように、キリストの群れ、教会が必要
- : 11 「終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい…」 (下線付加) :
- *9節の「霊的に成熟するように」とのパウロの祈り
 - 「慰めを受けなさい」:
 - *「勇気づけられなさい」の意
- : 13 「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが…」 :
- *新約聖書の祝祷
 - *教会は、奇蹟
 - *教会は、神の恵みにのみ依存し、神の愛によって歩み、聖霊の交わり (コイノニア) で互いに祝福を分かち合うキリストの群れ